

窯業・土石製品製造業

聖栄陶器 有限会社

原料から焼成まで。
一貫体制で幅広いニーズに応える。

陶土のメーカーとして1948年に創業。その後、生地作り、陶磁器の製造分野に進出し、分業化が主流の長崎県、佐賀県において陶土、生地作り、波佐見焼の窯元を自社で行う一貫体制を確立した。窯元や商社へデザイン提案を行うほか、オリジナル商品も充実。最新の設備を駆使しながら、職人の技術を継承することで「より良いものを、より安く」を実現している。

補助事業の内容と成果

新規成形機導入による高精度かつ

肉薄陶磁器生地の低コスト量産で売上の拡大

【事業のきっかけ】

陶磁器業界では近年、高精度、肉薄品の需要が高まっている。しかし既存の設備では、低価格で大量生産を行うことは可能であっても、寸法精度や肉薄の陶磁器製品には向いておらず、受注先から求められるランプシェードのように薄く精緻な陶磁器を大量に生産することはできなかった。

【事業内容・成果】

そこで導入を決めたのが「NCローラー成型機」。天然の土や石を使用しており、それを粘土にしたときに含まれる水分量によって、様々な調整が必要である。しかしこの機械は最新のPC制御により、土の固さや種類に左右されることなく肉薄な生地を100分の1ミリ以下の高精度で成形できる。

従来の機械と比較を行った結果、33%の軽量化に成功しており、肉薄の製品が製造可能となった。また絵付けは特殊な印刷機で行っているが、成形が理想の寸法通りにできることから、印刷のズレが少なくなった。これにより印刷の継ぎ目を気にする必要がなくなり、多様なデザインを展開できるようになった。

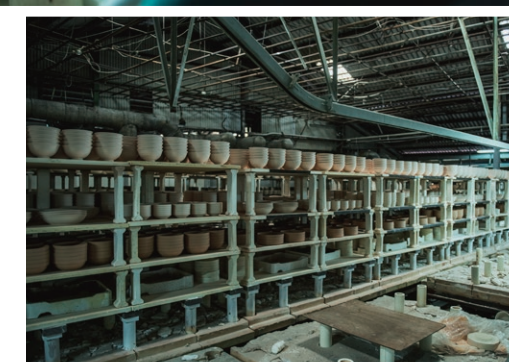
またこれまでは、印刷のズレやひずみが出るなどして破棄せざるを得ないものもあったが、高精度の成形により歩留まり率が3%向上。生産量が9.4%増加した。

【今後の展望】

肉薄陶磁器の量産体制が整ったことで、ランプシェードだけでなく、幅広い商品展開が可能となった。今後は新たな市場を開拓し、さらに多品種少量というニーズにも応えていきたい。



聖栄陶器 有限会社	
東彼杵郡川棚町下組郷2016-1	
Tel.0956-82-2530	
Fax.0956-83-2000	
http://shoeitoki.com/	
☐SHOZANN@po.saganet.ne.jp	
代表取締役社長／木下勇	
設立／1969年12月9日	
資本金／3000万円	
業種／窯業・土石製品製造業	
従業員数／45名	



ものづくり補助金活用

従来品より

33%軽量化

生産量

9.4%増加

軽量化の高精度・肉薄陶磁器の量産体制が確立。他社との差別化もできた。



Utilization
of
Subsidies

